

# 日本オリエント学会第 54 回大会プログラム

期日 2012 年 11 月 24 日(土)・25 日(日)

会場 東海大学湘南キャンパス

## 第 1 日 11 月 24 日(土)

会場 松前記念館講堂

13:00 開場

13:40 開会挨拶

14:00～16:50 公開講演会

小松 久男(東京外国語大学大学院総合国際学研究院・特任教授)

「鞭撻の志士イブラヒムと明治日本」

禿 仁志(東海大学文学部・教授)

「ブルガリアを掘る 東海大学によるテル・デアドヴォの発掘調査とその周辺」

17:00 日本オリエント学会奨励賞授与式

17:40～ 懇親会(会場 14 号館地階カフェラウンジ 14)

## 第 2 日 11 月 25 日(日)

10:00～16:30 研究発表会

会場 14 号館 1 階～3 階 14-104, 14-209, 14-210, 14-211, 14-304, 14-305 教室

主催 日本オリエント学会

共催 東海大学文学部アジア文明学科

問い合わせ先 日本オリエント学会第 54 回大会実行委員会

[orient54@hum.u-tokai.ac.jp](mailto:orient54@hum.u-tokai.ac.jp)

<http://www.hum.u-tokai.ac.jp/~orient54/>

11月25日(日)研究発表

赤字は時間の移動があった発表、青地は著者順やタイトルに一部変更があった発表を示します  
(11/12 現在)。

第1部会 14-104 教室

	時間	発表者	発表題目
1	10:00-10:25	高宮いづみ	エジプト先王朝時代末から初期王朝時代の文字・図像表現における方向性について
2	10:30-10:55	山花 京子	リシュト「ファイアンス工房」より出土した遺物の調査と考察
3	11:00-11:25	矢澤 健	エジプト中王国時代の祭祀土器の器形組成 アブ・シール南丘陵遺跡の事例
4	11:30-11:55	柏木 裕之	イシスネフェルト岩窟墓の造営過程 エジプト、アブ・シール南丘陵遺跡の発掘調査
11:55-13:20			[ 昼休み ]
5	13:20-13:45	近藤 二郎	テーベ西岸ウセルハト墓(TT 47)の再発見
6	13:50-14:15	菊地 敬夫	アメンヘテプ3世王墓におけるアムドゥアト書の短編の記し方について
7	14:20-14:45	河合 望	トゥトアंक(ウ)アテンからトゥトアंकアメンへ
14:45-15:05			[ コーヒーブレイク ]
8	15:05-15:30	和田浩一郎	古代エジプト・新王国時代の土墳墓における墓標について
9	15:35-16:00	齋藤久美子	古代エジプト第25王朝の王位継承における父系・母系論争

(2 番目に発表予定だった平山洋「オシリス神像の起源について アテフ冠と白冠の関連性から」は取りやめとなり、10 番目予定の山花発表が2 番目に移っています。)

第2部会 14-209 教室

	時間	発表者	発表題目
1	10:00-10:25	山吉 智久	「神は我がいのちを贖う」(詩 49:16) 旧約聖書におけるヘブライ語語根 P-D-H の原意とその宗教史的・神学史的展開
2	10:30-10:55	小山 彰	コプト語における焦点化転換(第2時制)の文焦点機能について
3	11:00-11:25	堀岡 晴美	ウル第3王朝期における「西方の MAR.TU」と「東方の MAR.TU」
4	11:30-11:55	杉江 拓磨	『ウルク予言』裏面8行の五つの KIMIN の解釈をめぐって
11:55-13:20			[ 昼休み ]
5	13:20-13:45	山田 雅道	ARANA 文書再考
6	13:50-14:15	山田 重郎	ティグラト・ピレセル3世碑文 形式的・歴史記述的特徴
7	14:20-14:45	渡辺千香子	アッシリア美術における「中心へ向かう構図」について アッシュルバニパルのライオン狩り浮彫とシンメトリー構図
14:45-15:05			[ コーヒーブレイク ]
8	15:05-15:30	渡辺 和子	エサルハドンの王位継承誓約文書について
9	15:35-16:00	渡井 葉子	一つ屋根の下で 新パピロニア時代ウルのある多世代同居一族について

第3部会 14-210 教室

	時間	発表者	発表題目
1	10:00-10:25	松尾有里子	近代オスマン帝国における女子高等教育
2	10:30-10:55	秋葉 淳	タンズィマート改革以前のオスマン朝イスタンブルにおける女子学校と女性教師
3	11:00-11:25	小笠原弘幸	オスマン帝国タンズィマート期における歴史教科書と歴史教育

4	11:30-11:55	岩本 佳子	オスマン朝における「準軍人」ルメリ・コリュックと「征服者の息子たち」の分析を中心に
	11:55-13:20		[ 昼休み ]
5	13:20-13:45	亀谷 学	アラビア語文献に見られるアッバース朝初期碑文テキストの検討
6	13:50-14:15	渡部 良子	イル・ハン朝期イランにおける財政制度の再検討 財務帳簿の機能とその管理システムを中心に
7	14:20-14:45	五十嵐大介	後期マムルーク朝の文官と慈善活動 Zayn al-Dīn ‘Abd al-Bāsiṭ の事例
	14:45-15:05		[ コーヒーブレイク ]
8	15:05-15:30	杉山 雅樹	ティムール朝期インシャー作品における書簡術の規定
9	15:35-16:00	後藤 絵美	イスラームの言説と性 20世紀のエジプトにおける「女性の役割」をめぐる議論からの考察

第4部会 14-211 教室

	時間	発表者	発表題目
1	10:00-10:25	内記 理	考古学成果から得られるガンダーラ美術様式年代学のベンチマーク
2	10:30-10:55	土谷 遥子	法顯伝『陀歴寺院』に関するオ・レル・スタイン説 パキスタン北部地方 ダレル渓谷現地調査(2009/2010)
3	11:00-11:25	貝原 哲生	7-8世紀エジプトの教会と社会
4	11:30-11:55	矢口 直英	フナイン・ブン・イスハーク『医学問題集』の分析
	11:55-13:20		[ 昼休み ]
5	13:20-13:45	松本奈穂子	トルコのカーヌーンにおけるマカームの伝承モデル
6	13:50-14:15	ダニシマス・イディリス	現代トルコにおけるスーフイズム タリーカのなかの「スーフイー」から社会のなかの「奉仕者」への展開
7	14:20-14:45	大川 玲子	クルアーン解釈者の権威 古典期から現代への変遷
	14:45-15:05		[ コーヒーブレイク ]
8	15:05-15:30	Victor M. BARRASO	<i>Umdat al-ṭabīb fī ma‘rifat al-nabāt: Ethnic Identities, Linguistic Diversity &amp; Religious Communities of al-Andalus in the Eleventh Century</i>
9	15:35-16:00	石田友梨	シャー・ワリーウッラーの靈魂論

第5部会 14-304 教室

	時間	発表者	発表題目
1	10:00-10:25	門脇 誠二	レヴァント地方上部旧石器文化の多様性 ユーフラテス川中流域の新資料から
2	10:30-10:55	小泉 龍人 齋藤 正憲	オリエント都市形成期の土器製作復原 小型土器焼成窯の改良と牛糞糞の燃料化
3	11:00-11:25	山藤 正敏	環境的境界地域の特異性 南レヴァント南部における前期青銅器文化の変遷
4	11:30-11:55	西山 伸一	北レヴァント鉄器時代の石製容器と祭祀をめぐる問題
	11:55-13:20		[ 昼休み ]
5	13:20-13:45	有松 唯	カスピ海南東部における彩文土器文化終焉の様相 インド・ヨーロッパ語族南下説検証
6	13:50-14:15	四角 隆二	伝イラン出土ガラス容器の検討
7	14:20-14:45	田中 英資	『遺産』の破壊が語ること トルコ・ゼウグマ遺跡出土のローマ時代のモザイク画を事例に
	14:45-15:05		[ コーヒーブレイク ]
8	15:05-15:30	藤原 達也	バクトリアとガンダーラの覇者 ティリヤ・テベ墓群出土貨幣の分析に基づく被葬集団同定の試み
9	15:35-16:00	千本 真生	前期青銅器時代ブルガリアの縄目文土器に関する一考察 デャドヴォ遺跡の事例を中心に
10	16:05-16:30	小茄子川歩	先インダス文明期とインダス文明期における凍石製印章の製作技術とその変遷に関する考古学的研究

第6部会 14-305 教室

企画セッション1

テーマ「**サファヴィー朝の200年 変化とダイナミズム**」 企画代表 近藤信彰

	時間	発表者	発表題目
1	10:00-10:25	後藤裕加子	<b>サファヴィー朝の王権と都市 ヨーロッパ人旅行者のサファヴィー朝宮廷訪問</b>
2	10:30-10:55	山口 昭彦	<b>宮廷と辺境を媒介する クルド系諸部族の統合とザンギャネー族</b>
3	11:00-11:25	守川 知子	<b>シーア派政権サファヴィー朝と改宗問題 あるアルメニア人シーア派ムスリムの軌跡</b>
4	11:30-11:55		コメント・討論
11:55-13:20		[ 昼休み ]	

(1番目と2番目の発表が入れ替わっています。)

企画セッション2

テーマ「**文献資料のデジタル化とその活用 オリент研究におけるデジタル・ヒューマニティーズの可能性**」

企画代表 永井正勝

	時間	発表者	発表題目
5	13:20-13:45	永井 正勝	<b>文書の持つ情報の何をどのようにデジタル化するのか? 古代エジプト神官文字の字形研究を例として</b>
6	13:50-14:15	安形 麻理	ヨーロッパ初期印刷本研究とデジタル化の技法 グーテンベルク聖書の画像を用いた校合とXMLによるコーディング
7	14:20-14:45	唐橋 文	タグ付きコーパスの作成事例 ペン・中央大学シュメール語コーパス
14:45-15:05		[ コーヒーブレイク ]	
8	15:05-15:30	中道 静香	『アラビアンナイト・カルカット第2版』全文データベースの活用 典拠特定の手がかりとして
9	15:35-16:00		コメント・討論

ポスター発表

14号館2階ホール コアタイム 12:30~13:00

発表者	発表題目
阿部 善也・山花 京子	オンサイト分析によるガッガル平原出土ファイアンスの考古化学的研究
柏木 裕之・山田 綾乃 黒河内宏昌・吉村 作治	クフ王第2の船の船坑および木材サンプリング調査
矢澤 健・河合 望 吉村 作治	アブ・シール南丘陵遺跡を対象とした携帯端末による遺跡ガイドの開発
高橋 寿光	エジプト、アブ・シール南丘陵遺跡の青色彩文土器の製作技術について
吉村 作治・河合 望 近藤 二郎・柏木 裕之 高橋 寿光	エジプト、アブ・シール南丘陵遺跡第21次・第22次調査(2011~2012年)概報
阿部 善也・矢澤 健 河合 望・吉村 作治	<b>非破壊科学分析によるエジプト新王国時代におけるコバルト着色剤の利用変遷の解明</b>
菊地 敬夫・犬井 正男 佐藤真知子・矢澤 健 吉村 作治	アメンヘテプ3世王墓の埋葬室に描かれた壁画の史料化に向けたデジタル画像化 その3
<b>安倍 雅史・西秋 良宏</b>	<b>ザグロス南部ファールス地方ラハマタバード遺跡出土石器資料の研究</b>
原田 怜・後藤 健 西藤 清秀・安倍 雅史	<b>バハレーン王国に対する文化遺産国際協力調査について</b>